

第5回 瑞穂町地域公共交通会議資料



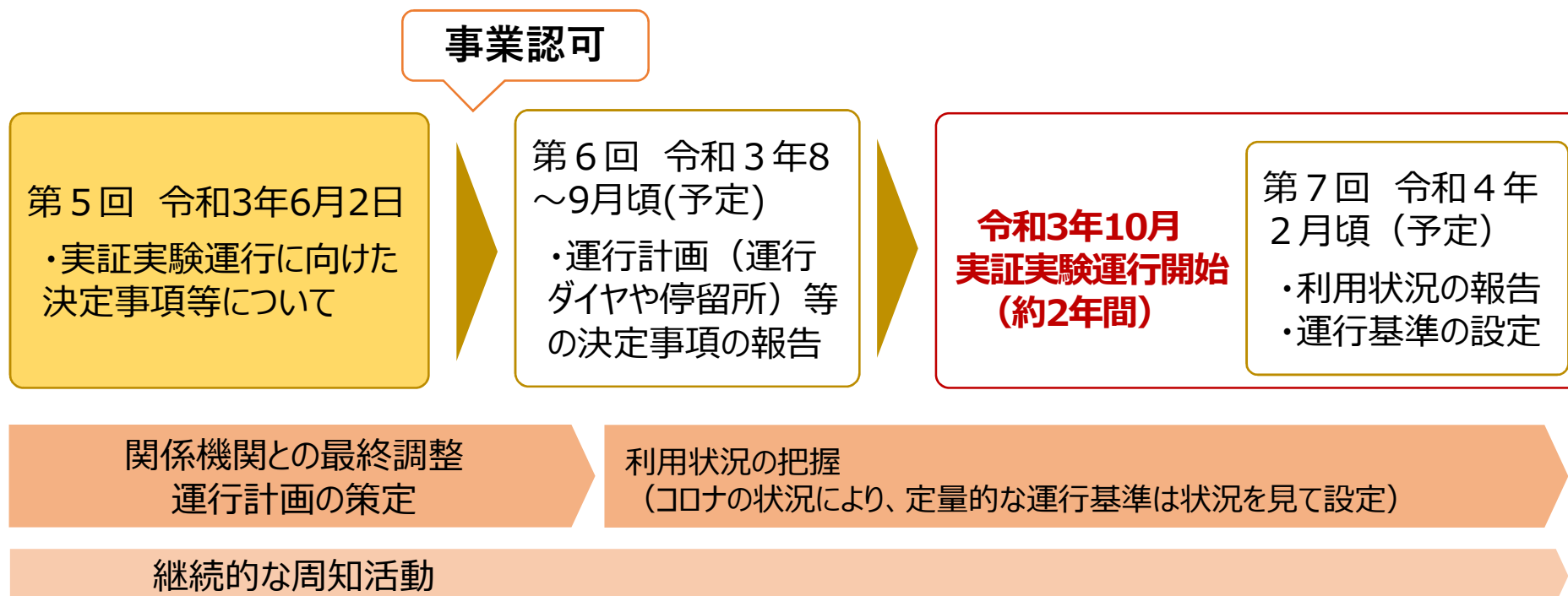
令和3年6月2日（水）
場所：瑞穂町役場庁舎1階
ホール

1.今年度の地域公共交通会議について

1

- 令和3年10月の実証実験運行に向けた運行計画内容の協議
- 実証実験運行までは、関係機関等との最終調整を行い、運行計画を策定
- 実証実験運行中は利用状況を把握
- 令和3年8～9月頃に第6回地域公共交通会議を開催予定

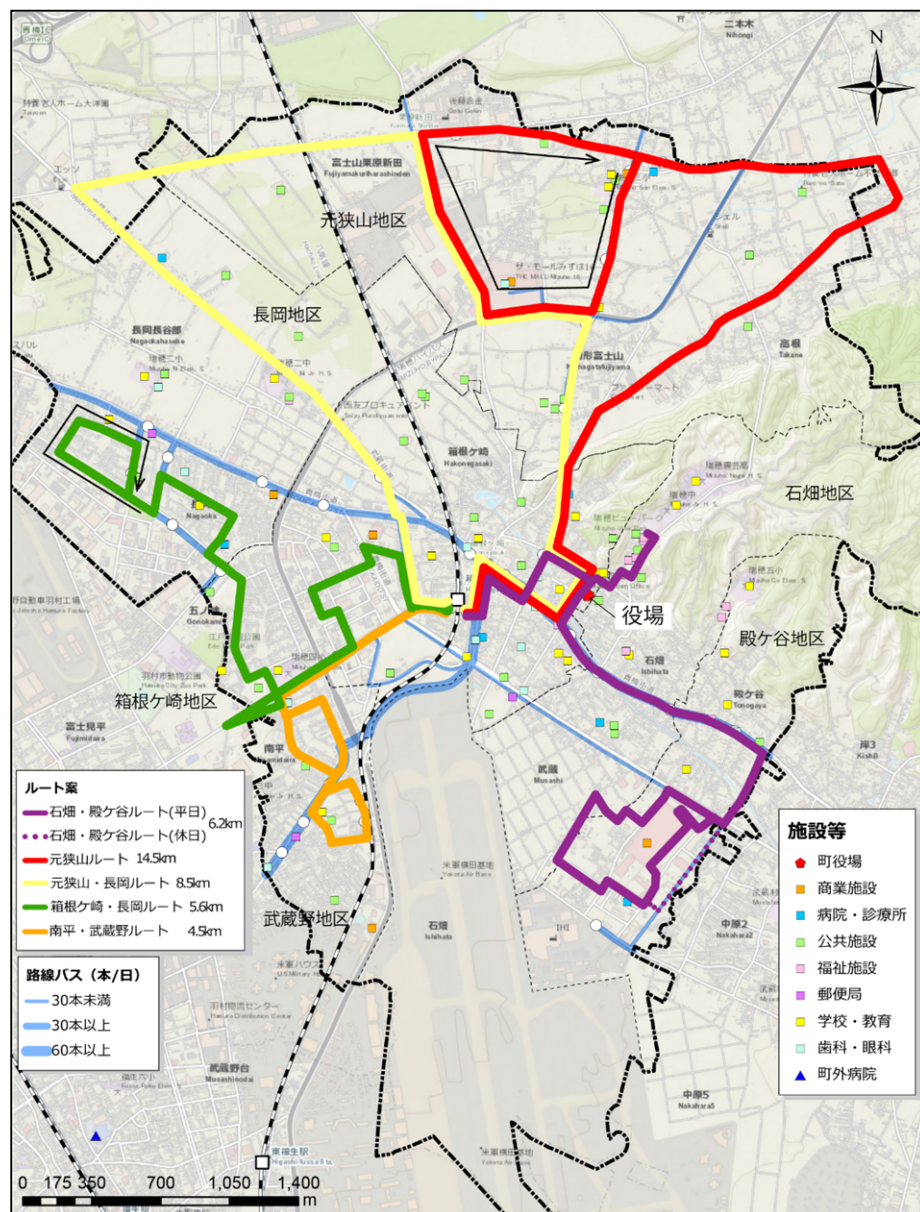
地域公共交通会議のスケジュールと主な議題(案)



2.昨年度の決定内容について

2

▼運行ルート



▼運行計画

運行台数	4台
便数※	現行(48便)と同等以上の便数を 目指す
運行ダイヤ※	- 鉄道との乗り継ぎ - 福生病院へアクセスする路線バスとの乗り継ぎ - 通勤・通学など移動目的の時間帯を考慮(元狭山地域) - 路線バスが運行していない地区を中心に設定
運賃	- 大人180円(IC178円) - 小児(12歳未満)90円(IC89円) - 交通系IC使用可 - 当日1回に限り無料で乗り継ぎ可 - 各種割引サービス有

※運行事業者との調整のもと決定

■ 議論・報告の内容

【令和3年10月の実証実験運行に向けた決定事項等について】

- 運賃・割引制度等について
- 実証実験運行までの調整内容について
- 周知方法について
- 運行基準について

● 運賃・割引制度については、以下の仕様で実施

運賃	・大人180円（IC178円） ・小児（12歳未満）90円（IC89円） ・交通系 I C 使用可 ・当日1回に限り無料で乗り継ぎ可 ・各種割引サービス有 ➤ 障がい者：半額（身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳（写真付き）を提示） ➤ 介護人：半額（手帳の旅客運賃減額欄に「第一種」の記載がある場合、手帳所持者に介護が必要であり手帳所持者と同乗する場合） ➤ 回数券：1,800円（11乗車分） ➤ 定期券：1箇月、3箇月定期券あり （※民間バス会社及び都営バスは1箇月を30日で計算しているが、週休2日制を考えると1箇月を20日で計算し、住民の利用促進を図りたい。 1箇月定期券 $360円 \times 20日 \times 0.75 = 5,400円$ 3箇月定期券 $5,400円 \times 3箇月 \times 0.95 = 15,390円$
その他	・コミュニティバス体験乗車期間の実施（利便性を住民に体験してもらうため、無料運行を実施予定。期間は2週間程度）

- 運行事業者の候補は「立川バス株式会社」
- 実証実験運行のため、最低限のバス停を確保
- 運行事業者と調整しながら、運行ダイヤの検討

【運行事業者】

- ・ コミバス運行事業者の公募で、立川バス株式会社を運行事業候補者に決定した

【バス停の設置・運行ダイヤ・車両等】

- ・ 正式に運行事業者が決定次第、バス停や運行ダイヤ、車両等の調整を行っていく
- ・ バス停は最低限必要な構造での設置を検討
- ・ 運行ダイヤは地域公共交通会議内で決めた方針を基に検討
- ・ 利用者がわかりやすいような工夫をした車両の運行を検討（色や表示等でルートを明確にすることを想定）

▼ 武蔵野市ムーバス



● 様々な周知方法でコミュニティバスの利用促進を図る

▼周知方法（例）

○広報



○瑞穂ケーブルテレビ



○ICカードの提供方法の工夫

○自治会等の回覧板にてチラシの配布

○無料乗車体験

○ポスター掲示（イメージ）



出典：海老名市HP

○時刻表・運行ルートの配布



出典：座間市HP

○説明会（イメージ）



出典：草加市HP（バスの乗り方教室の開催）

- 実証実験運行開始後の利用状況を把握しながら、具体的な基準を設定予定

- 新型コロナウイルスの影響による、他市のコミバスの利用状況は、約3~4割減となっている
- 現時点では、一定の基準を具体的に設定するのは、難しいため、実証実験運行開始後、利用状況をみながら具体的な基準を設定する予定

■ 定量的な運行基準例(数値目標)

- ・利用者数
- ・瑞穂町の財政負担
- ・満足度

等

▼ 武蔵村山市

2 新型コロナウイルスの影響による利用実績

新型コロナウイルスの影響を考え、平成31年（令和元年）と令和2年の1月から6月の輸送人数及び運賃収入を下表のとおり示した。

【平成31年（令和元年）と令和2年の3月～6月の輸送人員と運賃収入】

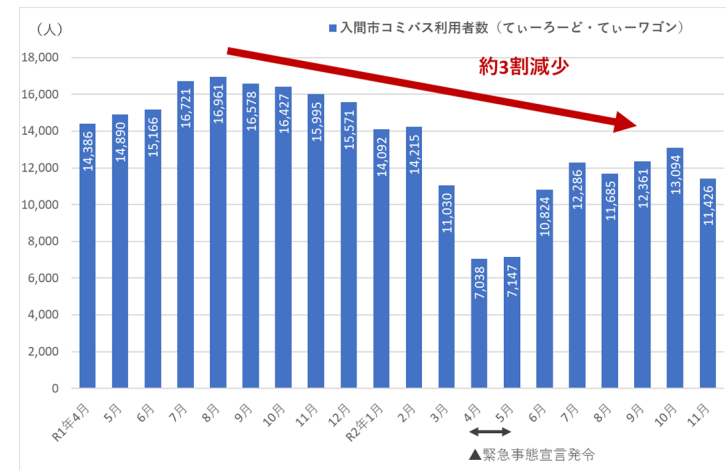
	輸送人員(人)			運賃収入(千円)		
	平成31年 (令和元年)	令和2年	増減率	平成31年 (令和元年)	令和2年	増減率
3月	21,549	20,375	-5.4%	3,247	3,238	-0.1%
4月	25,012	9,177	-63.3%	3,242	1,438	-55.7%
5月	23,848	8,327	-65.1%	3,085	1,333	-56.8%
6月	25,131	15,200	-39.5%	3,289	2,396	-27.1%

令和2年の3月から6月にかけて輸送人員は前年と比べて減少しており、特に4月から6月は新型コロナウイルスの影響（緊急事態宣言 4/7～5/6）により大きく減少した。

なお、6月には影響が緩和し輸送人員及び運賃収入が増加してきたと見られる。

出典：令和2年度2回武蔵村山市地域公共交通協議会資料

▼ 入間市



出典：第16回入間市地域公共交通協議会資料より作成